

## 第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

### 取り組みの柱 1 食をとおした健康づくり

基本施策	1-1 望ましい生活リズムの推進
	1-2 食と心身の健康づくりの推進
	1-3 日本型食生活の推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 朝食を毎日摂取するようにしましょう	幼稚園・保育園：99.2% 中学2年生：91.2% 中学3年生：94.0% 20～30歳代：75.0% 40～60歳代：82.6% 70歳以上：93.7%	中学生以下： 100%に近づける 20・30歳代： 90%に近づける 40歳以上： 100%に近づける
(2) 栄養バランス等に配慮した食生活を送りましょう	青年期：65.0% 壮年期：64.3%	80%以上に近づける
(3) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に気をつけて生活しましょう	新規	50%以上
(4) よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心を持ちましょう	新規	80%以上

取り組みの柱					担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4						
◎	○	○			保育課	「バランスのとれた食事」の啓発と実践 年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践します	「バランスのとれた食事」を体感できるように、日々の給食でバランスに配慮した食事を提供した。また、食事の準備や調理に関わる機会を持たせ、食の大切さを指導した。	公立保育園 園児	
◎			○		保育課	給食だより・保健だよりの発行 保護者へ、食や健康に関する情報を提供しています	給食だよりを発行した。(月1回発行) 保健だよりを発行した。(四半期ごとに発行)	公立保育園 園児	
◎					保育課	生活リズムの確立 園での生活の中で、日々の生活リズム（遊びなどの運動・食事・睡眠）をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ場をつくります	食事と昼寝の時間を決め、自然に生活リズムを意識した行動が出来るようにした。また、食事や健康の大切さを理解するための活動を、保育の一環として、保育士、栄養士、保健師の連携で実施した。	公立保育園 園児	
◎	○	○			鎌倉いずみ幼稚園	食育の5本柱を基に食育年間計画を立て実施	食育5つの柱(①食と人間関係、②食と健康、③食と文化、④命の育ちと食、④料理と食)を基に、学年別に食育年間計画を立て取り組みを行った。(例 お米ができるまで、栄養三原色、野菜の収穫、カレーパーティー等)	年少、年中、年長園児および保護者	【写真1】 3ページ参照
◎	○	○			七里が浜楓幼稚園	年間カリキュラム（指導計画）の立案	学年別カリキュラムに通年の目標、ねらい、活動(体験、クッキング、絵本、教材等)を立案し、実施した。(年少:食べ物に興味を持つ、年中:身近な食べ物の特性を知る、年長:食事の大切さを知る)	園児	
◎			○		公立小学校	給食だよりの発行 保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立の作り方を紹介しています	給食だよりの発行を実施した。 (概ね月1回発行)	児童	<担当課> 学務課
◎			○		公立小学校	食育だよりの発行 中学生へ、食や健康に関する情報を提供したり、朝食のレシピを紹介しています	食育だよりの発行を実施した。 (年3回発行)	生徒、保護者、教師	<担当課> 教育指導課

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
◎				公立小学校	給食をとおしてバランスのとれた食を学ぶ バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学びます	給食を教材として食事のバランスについて学ぶことを実践した。	児童	<担当課> 教育指導課
◎		○		公立小・中学校	保健だより、健康だより等の発行 これらをとおして、望ましい生活リズム等を児童・生徒や家庭へ伝えます	実施(概ね月1回発行)	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎		○		公立小・中学校	朝会、学級指導、道徳の時間を 利用した指導	年間指導計画に基づき、また指導の必要な場面に応じて実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎		○		公立小・中学校	生活リズム強調期間の設定	長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎	○			公立小・中学校	家庭科等の教科における食育 栄養バランスを考えた献立を整え、基礎的な調理をします	実施 (年間指導計画に基づき、小学校では、米飯とみそ汁を中心とした1食分の調理実習などを実施した。中学校では、栄養を考えた食事の献立を考え、基礎的な日常食の調理を実施した。)	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎	○	○	○	公立小・中学校	食に関する年間指導計画を策定	全校策定	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎	○	○	○	公立小・中学校	家庭科、特活等における学習 食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学びます	年間指導計画に基づき家庭科、特活等における食に関する学習を実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎		○		市民相談課	小学生からの消費者教室 おやつなど、子どもにとって身近な食品について、成分や安全性などを学ぶ講座を開催します	小学3～6年生とその保護者を対象に、お菓子の色、飲料の甘さ、排水への影響について実験をとおし考える教室を開催した。(4回、延べ80人)	小学生と保護者	【写真2】 4ページ参照
◎				教育総務課 (生涯学習センター)	かまくら食育カレッジの開催 世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	7/30実施 小学生を対象とし、肉まん＆デザートづくりを実施。(22名参加)	市民	
◎						12/6実施 幼稚園児とパパとのお菓子作り(24名参加)	市民	
◎						1/18、21 2回実施 甘酒と味噌造り。(延べ43名参加)	市民	
◎	○	○	○	市民健康課	かまくら食育カレッジ健康学科の開催 世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	「健康づくり」の視点で食育カレッジを実施した。 「健康食品の正しい利用方法について」「時短！栄養満点・美味しい野菜調理術～蒸しいたげ」「お口を育む食事で丈夫な口・歯を作ろう～簡単調理実習＆試食付き～」(述べ101人)	県民	【写真3】 4ページ参照  「健康食品の正しい利用方法について」は神奈川県食品衛生課と共催で実施。
◎	○	○		市民健康課	地域支援事業における食育講座の実施 「地域サポーター養成講座」の中で栄養・食事に関する講義を行い、今後の地域活動に活かします	望ましい食事のあり方や、今後地域サポーターになった際に地域でできること等の講義を実施した。(1回、7人)	市民	

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
◎	○			市民健康課	母子食育事業の実施 お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝えます (こんにはあかちゃん教室、おんぶで離乳食教室、バナラビーンズ等)	初めてあかちゃんをむかえる、お母さん・お父さんのための講座として「こんにはあかちゃん教室」、離乳食の形態とあかちゃんの口の動きを学ぶ講座として「おんぶで離乳食教室」、双子・三つ子の親子の情報共有や共食を楽しむ講座として「バナラビーンズ」を実施した。(21回、延べ404人参加)	乳幼児及び保護者	
◎				市民健康課	乳幼児健診・乳幼児健康相談等における啓発 乳幼児健診等で、保護者との個別相談の時間を設け、生活リズムの確認や食事の大切さを伝えます	6か月児育児教室、1歳児歯科育児教室、1歳6か月児健康診査、乳幼児健康相談において食事に関するアドバイスを実施した。また、1歳6か月児健康診査では一口つなぎ食に関するレシピ配布を行った。(147回、延べ2032人)	乳幼児及び保護者	
◎				市民健康課	地域食育事業・健康づくり事業の実施 地域の活動グループ(町内会・PTA・子育てサークル等)との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等をおし伝えます	骨密度や体組成測定等とあわせて食と健康づくりについて啓発した。今年度は減塩に重点をおき実施した。また、地域の活動グループの中で、乳幼児期の食事・生活習慣病予防のための食事・高齢期の食事等についての講話を行った。(26カ所、延べ791人)	市民	【写真4】 4ページ参照
◎				市民健康課	成人保健事業における栄養相談の実施 個別栄養相談「食事カルテ」を実施し、食生活から生活習慣病予防を考えます	食事に関する個別相談を行い、望ましい食事にするための情報提供や個々に応じた食生活の提案を行った。(36回、38人)	市民	
◎				市民健康課	高齢者保健事業における食育事業の実施 個別栄養相談やランチセミナーを通して、望ましい食事とウエイトコントロールについて考えます	膝関節・股関節疾患の方を対象にした講座において、食事に関する個別相談や市内就労継続支援事業所等で作られたお弁当を用いたランチセミナーを行った。(7回、30人)	市民	



【写真1】食育の取り組み(鎌倉いずみ幼稚園)



【写真2】 夏休みこども教室(市民相談課)



【写真3】 食育カレッジ「健康食品の正しい利用方法について」(市民健康課)



【写真4】 地域健康教育(市民健康課)

## 第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

### 取り組みの柱 2 食をとおした人づくり

基本施策	2-1 食に関する体験の推進
	2-2 鎌倉の食、日本の食の伝統や文化の推進
	2-3 家庭、地域、学校等における共食の推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」を楽しみましょう	平成25年度から指標変更	週平均10回以上
(2) 農水産業など食に関した体験をしましょう	平成25年度から指標変更	30%以上

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
◎				保育課	給食をとおし、伝統的な食に親しむ 和食の献立を多く取り入れた給食を実施します	日々の献立に、和食を意識的に多く取り入れている。野菜や果物など、旬を意識して提供した。また、こどもの日、七夕、十五夜、ひな祭りなど、伝統的な和の行事食を実施した。	公立保育園 園児	
◎				保育課	スプーンや箸などの食具の上手な使いかたを身につける	日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方(スプーンの持ち方や箸の使い方)の指導を実施した。	公立保育園 園児	
◎				保育課	食に関するマナーを知る 集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援します	日々の給食時間にクラス内での他者との関わり方や食事マナーを指導した。また、行事の時には異年齢児とグループになり、大人数での会食マナーを身につける指導を実施した。	公立保育園 園児	
◎				保育課	「食」に関する感謝の心をはぐくむ 給食、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てます 食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てます	野菜の栽培や調理保育を通し、食に関わることにより、感謝の心を育てる指導を実施した。	公立保育園 園児	
◎				保育課	給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食 日々の給食やランチルーム会食、地域の方との会食等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験します	公立保育園では、日々の給食時間にはクラス内、行事の時には異年齢児とグループになり会食することにより、一緒に食べる楽しさを体験させた。	公立保育園 園児	
◎				岩瀬保育園 植木分園	食育フェスタの開催 保護者や近隣住民を巻き込んで食について見直し、考える機会にします	園児が作成した食に関する作品の展示を中心に、食体験、お豆腐作り体験、鎌倉やさいの販売、りんごの皮むき競争等を行った。食堂での手作りおでん、びつくりカレー等も販売し、家族みんなで味わった。	園児	【写真5】 7ページ参照
◎				岩瀬保育園	秋の食育 収穫体験をし、五感を使って食を楽しみます	園庭に実った柿の実、榎の実、山形の保育園の先生方から送っていただいた梨、卒園生から届いたサトウキビなどのおいしい手触りを楽しみ、みんなで味わった。	園児	
◎				岩瀬保育園	バイキング給食の実施 自分で料理をお皿によそい、食を楽しみます	年に3回、お誕生会でのバイキング給食を実施した。子どもたちは特に声をかけなくてもまんべんなく料理をよそい、何度もおかわりをして心行くまでバイキングを楽しんだ。	園児	【写真6】 7ページ参照

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
◎				鎌倉みどり こども園	食育 みそ汁作り 自分たちで調理をし、食への興味を持つ	煮干しでだしをとり、コップに入れ飲むことで子どもたちが香り、味、だしの色まで実際に「うま味」を味わった。豆腐、キャベツ、しめじ、ジャガイモを各グループ分担し、包丁で切り、みそを入れ、出来たみそ汁を昼食の時間にみんなで食べた。	3～5歳児	
◎	○			材木座幼稚園	みらいふる鎌倉のみなさんと一緒にすいとん作り体験の実施 すいとん作りをおじいちゃん、おばあちゃんと体験し、みんなで一緒に食べる楽しさを味わう	みらいふる鎌倉で栽培した大根を使ってすいとん作りをし、大根、すいとん、油揚げのおつゆと家から持ってきたおにぎり弁当と一緒にいただいた。	全園児、みらいふる鎌倉の方、立正大学学生	
◎				七里が浜楓幼稚園	「ホットケーキ作り」とトッピング体験	導入として絵本を読み、ホットケーキの作り方を知り、焼き方の見本を見て、グループでの調理体験と生地作り、片付けと全て自分たちで体験した。カットフルーツや生クリーム等でデコレーションを楽しみ、全員で試食した。	3歳児	
◎				公立小学校	鎌倉伝統の食による献立の作成 鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝えます	鎌倉の伝統の食を取り入れた献立として、各学校でけんちん汁を実施した。	児童	<担当課> 学務課
◎				公立小学校	給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食 日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等とおし、一緒に食べる楽しさを体験します	ランチルームでの会食や学年間の交流給食、地域の方などの会食を実施した。	児童	<担当課> 教育指導課
◎	○			公立小・中学校	「食」に関する感謝の心をはぐくむ 給食、家庭科、技術・家庭科等とおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てます 食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てます	各校において指導を実施	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
◎				青少年課	かまくら食育カレッジの開催 世代とおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	幼児、小・中学生とその保護者、青年に対し、「食」に関心をもち、一人ひとりに対して、77回延べ3,101人参加)	幼児～中学生とその保護者及び青年	
◎	○	○		市民相談課	かまくら食育カレッジの開催 世代とおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	小学3～6年生とその保護者を対象に実験や体験とおし啓発した。 お菓子の色、飲料の甘さ、排水への影響について実験を通し考える教室を開催した。(4回、延べ80人) 鎌倉の野菜について学び、多種の作物を栽培する七色畑での状況を体験する教室を開催した。(1回、6人)	小学生と保護者	
○	◎	○	○	市民健康課	かまくら食育カレッジ鎌倉学科の開催 世代とおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	「親子で鎌倉やさいの収穫体験をし、採れたて野菜を食べてみよう!」(述べ16人)	市民	【写真7】 7ページ参照

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
	◎	○		市民健康課	幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」の実施	「自分でやってみたい」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味わった。 図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行った。 調理は日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験を行った。(4回、65人参加)	2歳6カ月～3歳11か月までの幼児及び保護者	【写真8】 8ページ参照
	◎			高齢者いきいき課 市民健康課	一人暮らし高齢者の会食会等の支援 地区社協を中心とした、一人暮らし高齢者の会食会等の開催の支援と会食会等での食に関する健康教育	地区社会福祉協議会で、高齢者の会食会を中心に活動した。		【写真9】 8ページ参照



【写真5】 食育フェスタ(岩瀬保育園)



【写真6】 バイキング給食(岩瀬保育園)



【写真7】 食育カレッジ「親子で鎌倉やさいの収穫体験をし、採れたて野菜を食べてみよう！」(市民健康課)



(図書館スタッフによる手遊び)



(おにぎり作り)



(かつおの大きさを見てみよう)



(かつおのぬいぐるみ 提供:鎌倉市衛生協議会)

【写真8】 やってみよう！わくわくクッキング(市民健康課)



【写真9】 ベルの会主催:高齢者の会食会(高齢者いきいき課、市民健康課)



## 第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

### 取り組みの柱 3 食でつなぐ地域づくり

基本施策	3-1 生産から体の中まで、食の過程を知る体験の推進
	3-2 地場産物の使用の推進
	3-3 食をとおした地域づくりの推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 地元産（県内産を含む）食材を使いましょう	25.8% * 地元産の（県内産を含む）食材をよく購入している人の割合	30%以上
(2) 食育の推進に関わるボランティア活動をしてみましょう	9団体（612人）	700人以上

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
	○	◎		保育課	調理体験 自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った調理を体験します	5歳児に調理保育を実施した。 (味噌汁、カレー、月見団子、焼きおにぎり、おせち料理等)	公立保育園 園児	
		◎		保育課	栽培をとおして食べる意欲を育てる 種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の苦労と収穫の喜びを体験します	野菜や芋の苗付けや収穫を実施した。 園児の成長状況に応じ指導した。	公立保育園 園児	
		◎		保育課	味覚体験 自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験します	栽培から収穫までを体験し、採れた野菜を調理保育や給食の材料として使用するなど、一連の流れで経験できた。 園児の成長状況に応じ指導した。	公立保育園 園児	
		◎		保育課	地場食材を活用した給食の実施 鎌倉産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝えます	市内・県内産の青菜、玉ねぎ、キャベツ等を使用。野菜類については学校に準じた納品を納入業者の協力で実施した。	公立保育園 園児	
		◎		岩瀬保育園	梅ジュース作りなどの食体験 香りを楽しみながら調理体験をし、味わいます	4・5歳児が園庭に実った梅の実と国産梅で梅ジュースを作った。手洗い、消毒をし、梅にフォークで穴をあける工程を楽しんだ。 その他、草餅、まゆだま、お餅つきを体験した。	園児	【写真10】 12ページ参照
	○	◎		片岡幼稚園	栽培を通して食べる意欲を育てる	年長児・年中児が夏野菜である「キュウリ・ナス・プチトマト」を自分たちで栽培し、保育時間にそのまま、あるいは炒めて食べる機会を設けた。	年長、年中 園児	【写真11】 12ページ参照
	○	◎		聖路加幼稚園	「大切に育てたものを感謝していただく」植え付け・収穫・調理・食す体験 自ら大切に育てたものを収穫し、自ら調理し大切に美味しくいただく	園児自ら田植えをし、草取り、収穫、一粒ずつ“もみ”を手で取り、食す。にんじん、じゃが芋の植え付け・草取り・収穫をし、皆で調理し食す。	園児	
	○	◎		鶴岡幼稚園	だいこんの栽培 栽培を通して食べる意欲を育てる	みんなで種まきをした大根の栽培、収穫を体験し、収穫した大根をみそ汁の具として試食した。	4歳児	
	○	◎		西鎌倉幼稚園	梅を使ってのいろいろ作り	幼稚園の梅の木、家庭で地域で育った梅を持ち寄り、子どもたちで調理方法を調べ、梅ジュース、梅ゼリー、梅干し、梅ジャム等、保護者のご協力のもとレシピを考え、育てていたお米で梅干しにぎりもつくって食べる事ができた。	3～5歳児	

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
	○	◎		西鎌倉幼稚園	お米を育てよう お米ができるまでを知り、工夫しながら、お米を大切に育てる	大きなケースを利用し、お米の栽培を行った。お米から発芽させ、土作り、田植え、収穫、脱穀、最後はお米としていただいた。地域の公園や田んぼへ出向き、お米や田んぼのことを調べたり、お米新聞を発行したり、幼稚園の中のいろいろな場所の土でお米を育ててみたりした。	4歳児	
	○	◎		西鎌倉幼稚園	お米を育てよう 季節のクッキング	5月のヨモギ団子作りから始まり、3月のひなケーキづくりまで、各学年、季節や行事を意識して、クッキングを行った。クッキングに使用する野菜は園児で育てた。(春:ヨモギ団子、夏:夏野菜、秋:サツマイモ、冬:冬野菜を使ったお雑煮、温かいスープ等)	3～5歳児	
		◎	○	公立小学校	学校給食展の開催 地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深めてもらいます	鎌倉駅地下道ギャラリーに学校給食についてのパネル展示を10月に実施した。	児童	<担当課> 学務課
		◎	○	公立小学校	季節の食材の紹介 給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信します	旬の野菜等を取り入れた給食の提供を、給食日より等で紹介した。	児童	<担当課> 学務課
		◎		公立小学校	地場食材を活用した給食の実施 鎌倉産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝えます	市内産のほうれん草やこまつな等、県内産の牛乳、たまねぎ、キャベツ、米等を使用した給食を実施した。	児童	<担当課> 学務課
		◎		公立小・中学校	生産体験学習 栽培活動をとおして、食生活が多くの人に支えられていることを学びます	米・野菜の栽培等、各校の年間指導計画に基づき実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
		◎		公立小・中学校	食料生産に関する学習 社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学びます	食料生産に従事している人々の工夫や努力、地域の環境条件を生かした食料生産等を各校における年間指導計画に基づき実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
		◎		公立中学校	職場体験（キャリア教育） 総合的な学習の時間とおした、職場体験を実施します	近隣の青果店等での職場体験を各校の年間指導計画に基づき実施した。	生徒	<担当課> 教育指導課
	○	◎	○	教育センター	食育研修会の実施 児童・生徒へ「食育」を伝えるため、まず、教育に携わる教職員の研修会を開催し、一人ひとりが「食とは何か」を考えます	第1回は「東日本大震災以降の食育の変化について」をテーマに講演を(33名参加)、第2回は「環境に配慮した食教育」等をテーマに実習及び講演を(19名)、第3回「鎌倉の漁業の仕組みを学ぶ」等をテーマに実習及び講演を(24名参加)実施した。	小中学校教職員	
		◎		JAさがみ鎌倉市青壮年部	親子農業体験の開催 JAさがみ鎌倉市青壮年部が、種まきから収穫まで、一連の農作業体験の場を提供します	第1回種まき(9/5実施)33組参加 第2回間引き(9/19実施)29組参加 第3回収穫(11/15実施)27組参加	市民	<担当課> 産業振興課

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
		◎		秋の収穫まつり実行委員会	秋の収穫まつり 鎌倉で収穫された農産物・海産物の紹介と販売をとおし、鎌倉の食を一緒に守り育てる心をはぐくみます また鎌倉の産業の活性化をはかります	秋の収穫まつり 魚まつり(鎌倉漁協・10/4実施) 農産物品評会・秋の収穫まつり(11/21・11/22実施)	市民	<担当課> 産業振興課
		◎		鎌倉女子大学家政学部家政保健学科調理と食文化ゼミナール	大船軒とのコラボ弁当の開発 鎌倉市の老舗駅弁店と大学生が鎌倉、神奈川県内の食材を使い弁当の開発を行います	第8弾として、四季を表現した4種の変り鶏からと旬の食材を使った「鶏の変り揚げ弁当-秋仕立て-」を開発した。11月に1200個販売した。	対象範囲はなし	
		◎		鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科食品学ゼミナール	大学はおいしい!!フェア ゼミナールで考案した商品を販売し、研究成果を公表します	鎌倉で採れるホンダワラ科に属する海藻の「アカモク」を利用した「アカモクのさつま揚」を井上蒲鉾店と共に商品開発した。鎌倉産アカモクを用いたさつま揚は、カルシウム、鉄、マグネシウムなどのミネラルが豊富で、食物繊維が多く、歯切れのよい食感が特徴。多くの方から高い評価を得た。	対象範囲はなし	
		◎		鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科食品学ゼミナール	鎌倉マルシェ及びペデマルシェへの出店 鎌倉ダイニングと食品添加物を使用せず自然の風合いが楽しめる製品を共同開発します	市内の農業者(関谷の盛田氏・落合氏)のトマトを使用し、「鎌倉産トマトのヨーグルトソース」と「鎌倉産トマトのジャム」を開発、鎌倉マルシェ(9月19日～20日大船駅ルミネウイング3F正面入り口)にて販売した。また、ペデマルシェ(10月17日大船駅西口ペDESTリアンデッキ)でも販売した。	対象範囲はなし	【写真12】 12ページ参照
		◎	○	鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科食品学ゼミナール	秋の収穫まつりの実施 様々な企画をとおし、子どもたちが野菜の魅力を知り、野菜を食べるきっかけをつくります	クイズ形式の紙人形劇「ゴッホン大王からの挑戦状～きみにも解けるかな～」を11月22日に鎌倉女子大学菩提樹の道で上演した。参加してくれた子ども達には、野菜のマグネットシールをプレゼントした。	秋の収穫祭り参加者	【写真13】 12ページ参照
○	○	◎	○	市民健康課	かまくら食育カレッジ教養学科の開催 世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	「食でつなぐ地域づくり」の視点で食育カレッジを実施した。「～家庭でできる食育～湘南・鎌倉地域の地産地消を知ろう」(述べ14人)	市民	
		◎		市民健康課	食育事業(調理実習等)における地場食材の使用 調理実習等をとおし、地元産(県内産を含む)の食材を味わってもらうことで、地元の食を知り、大切に作る心をはぐくみます	食育カレッジ、こんにはあかちゃん教室、おんぶで離乳食教室、バニラピーンズ(双子・三つ子の親子講座)等の調理実習や講座で地場食材を使用し、旬の食材の良さ等を伝達した。(計21回使用)	市民	
		◎		市民健康課	地域食育活動団体加入者増加のための協力	食育に関する事業で鎌倉市食育活動団体として登録されている12団体を紹介するチラシを配布した。また、ホームページや衛生時報での周知を行った。	市民	



(草餅作り)



(まゆだま作り)

(お餅つき)

【写真10】 草餅作り・まゆだまづくり・お餅つきなど食体験(岩瀬保育園)



【写真11】 お芋パーティー(片岡幼稚園)



【写真12】 鎌倉マルシェ及びペデマルシェへの出店  
(鎌倉女子大学)



【写真13】 秋の収穫まつり(鎌倉女子大学)

## 第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

### 取り組みの柱 4 食からはじめる環境づくり

基本施策	4-1	食に関する場づくりの推進
	4-2	食育情報の発信体制の充実
	4-3	食の3Rの推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 食品表示や、食中毒の予防などの食品の安全性について関心をもちましょう	65.80%	90%以上
(2) 食物などから出るごみの発生抑制に取り組みましょう	82.60%	85%以上

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
			◎	保育課 こども みらい課 発達支援室	食に係る放射性物質濃度測定の実施 市立・私立保育園、あおぞら園、幼稚園及び小学校給食食材等並びに農産物の放射性物質濃度測定を実施します	市立保育園、またはあおぞら園の給食食材について、1日1検体を抽出し、給食に使用する前日に測定して安全を確認した。 また、私立保育園及び幼稚園は施設からの申出により、園庭等で収穫した食材も含め測定を実施した。	公立保育園 園児	<担当課> 保育園：保育課 幼稚園：こどもみらい課 あおぞら園：発達支援室
			◎	公立小学校		市立小学校の給食に使用する東日本産の食材について、1日2検体を抽出し、給食に使用する前日に測定した。さらに、事前に測定可能な食材については、月15検体程度を測定し、安全な食材の提供に努めた。	児童	<担当課> 学務課
			◎	産業振興課		市内で生産された農産物について、毎月1回放射性物質測定を行い、安全を確認した。		
			◎	公立小・中学校 環境政策課	牛乳パックのリサイクル 給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくみます	公立小・中学校全校で実施した。(牛乳アレルギーの児童に配慮して実施した。) 平成27年度リサイクル量：約10,880kg		<担当課> 公立小・中学校： 教育指導課
○			◎	公立小・中学校	鎌倉の地域に関する学習 社会科、総合的な学習の時間等の時間をおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくみます	地域学習の中で、鎌倉の農業や生産物等についての学習を実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
			◎	公立小・中学校	社会科等の教科における学習 市教委作成副読本「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくみます	各校の年間指導計画に基づき実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
			◎	公立小・中学校	環境教育の実施 教科、総合的な学習の時間等をおし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくみます	各校の年間指導計画に基づき実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課
			◎	公立小・中学校	開かれた学校づくり 学校行事等の開放により、地域との連携を推進します	10月に「学校へ行こう週間」を全校で実施した。	児童・生徒	<担当課> 教育指導課

取り組みの柱				担当課 (実施主体)	内容	平成27年度実績 (4月～3月分)	対象者	備考
1	2	3	4					
			◎	環境政策課	「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画改訂版」及び「鎌倉市環境教育推進計画」の施策の推進 温室効果ガス削減や環境保全行動の推進について、具体的な取り組み（地産地消 など）の普及啓発を図ります	・6月の環境月間において、農産物の地産地消についてのパネル展示を実施した。 ・環境出前講座(7月/1回)、夏休み子ども観察会(8月/1回)、環境教育アドバイザーの派遣(36回/1,710名)を実施した。	市民	
			◎	資源循環課	環境教育 保育園・幼稚園・小学生の児童を対象とした、循環型社会の形成に向けた、「食」とおたごみ発生抑制・減量化及び資源化を推進します	出前講座や貸出しによるイベント等で実施した。 ・保育園・幼稚園(紙芝居等貸出しによるイベント型) 5回(貸出しのため人数未回答) ・小学校 6回(延べ497人参加) ・中学校 4回(延べ532人参加)	市民	
○	○	○	◎	市民健康課	かまくら食育カレッジ環境学科の開催 世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	「食と環境」の視点で食育カレッジを実施した。 「エコ・クッキング」「実践！家庭でできる食品衛生とノロウイルス対策」(述べ33人)	市民	【写真14】 14ページ参照 協力：環境政策課
○	○	○	◎	市民健康課	食育交流会の実施 生産者等「食」に携わる人・団体やかまくら食育クラブの交流をはかり、一緒に「鎌倉の食育」を推進する体制づくりをめざします	市内スーパー店にてをテーマに食育交流会を実施した。(127人参加)	市民	【写真15】 15ページ参照 協力：そうてつローゼン鎌倉深沢店、フジッコ(株)、JAさがみ、鎌倉漁協協同組合
○	○	○	◎	市民健康課	食育情報の発信 食(育)に関する正しい情報発信の充実をめざします	鎌倉衛生時報やホームページ等に食育に関する記事を掲載し、情報発信を行った。 ・フェイスブック：食育月間PR～朝ごはんを食べよう～、行事食PR～土用の丑の日～ ・衛生時報3月号：健康な食事って…？～主食・主菜・副菜をそろえよう～	市民	【写真16】 15ページ参照



【写真14】食育カレッジ「エコ・クッキング」(市民健康課)



(野菜1日350g、食物繊維の多い食品の紹介)



野菜摂取量・食物摂取量アップのPOPの掲示



(フジッコ株式会社による豆つかみゲーム)



(体組成測定・血管年齢測定)

【写真15】食育交流会「カラダの中から元気に！」(市民健康課)



【写真16】フェイスブックでの情報発信(市民健康課)

